

## 学校教育旅行の受入実績



	宿泊受入校	日帰り校	受入人員
平成21年度 見込み	55校	22校	6,400人
平成20年度	51校	19校	6,113人
平成19年度	44校	20校	4,760人

### 子ども交流プロの実績(20年度)

- ◆ 男鹿市立弘戸小学校(3泊4日)
- ◆ いいづな学園グリーンヒルズ小学校(5泊6日)
- ◆ 三種町立上岩川小学校(1泊2日)
- ◆ 湯沢市立駒形小学校(1泊2日)
- ◆ 大仙市立内小友小学校(2泊3日)
- ◆ 文京区立本郷小学校(2泊3日)

## 小学生宿泊体験モデルプラン

地域内の宿泊施設を組み合わせながら、長期滞在も調整可能です。

### モデルプラン1

5月上旬～10月下旬

### 農村生活と野外体験.1

- ポイント** 農山村の生活を通して、食の大切さを学ぶプラン。
- 教育的効果** 文化の成り立ちや生活の知恵、仲間との協調性や信頼
- お一人様料金** **35,000円(税込)**



日 程	プログラム内容	宿泊地
1日目	◆ たざわこ芸術村での観劇 ◆ 団員の指導によるNEWソーラン節の練習	たざわこ芸術村
2日目	◆ 水稲:田植え～稲刈り◆ 野菜:種まき・植え付け～管理～収穫◆ 山菜採り◆ きのご採り ◆ 林業体験:秋田杉の枝打ち等	農家
3日目	◆ 水稲:田植え～稲刈り◆ 野菜:種まき・植え付け～管理～収穫◆ 山菜採り◆ きのご採り ◆ 林業体験:秋田杉の枝打ち等	農家
4日目	◆ マウンテンバイク教室◆ カヌー教室 ◆ 田沢湖キャンプ◆ バーベキュー	田沢湖キャンプ場
5日目	◆ 樺細工製作◆ イタヤ細工	—



### モデルプラン2

5月上旬～10月下旬

### 農村生活と野外体験.2

- ポイント** 農山村の生活を通して、食の大切さを学ぶプラン。
- 教育的効果** 文化の成り立ちや生活の知恵、仲間との協調性や信頼
- お一人様料金** **26,500円(税込)**



日 程	プログラム内容	宿泊地
1日目	◆ たざわこ芸術村での観劇 ◆ 団員の指導によるNEWソーラン節の練習	たざわこ芸術村
2日目	◆ 水稲:田植え～稲刈り◆ 野菜:種まき・植え付け～管理～収穫◆ 山菜採り◆ きのご採り ◆ 林業体験:秋田杉の枝打ち、除伐、間伐	農家
3日目	◆ キャンプ場指導員によるネイチャーゲーム(自然観察) ◆ ぶな林トレッキング◆ キャンプファイヤー ◆ 田沢湖キャンプ◆ バーベキュー	田沢湖キャンプ場
4日目	◆ 樺細工製作◆ イタヤ細工	—



### 参加した先生の声

民泊体験では、2軒の農家にお世話になり、ご家族と畑の収穫作業から食事づくりまで、一緒に活動させていただきました。家族のように過ごし、子ども達は「まだ帰りたくない」といふほど。会話や作業の中で、自分たちの地域と仙北市との違い、それぞれ良さを感じたようです。帰り際には、感謝の気持ちから、自主的に上岩川の「鳥追い歌」を披露。本校では、「言葉と体験」の重視による研究実践を進めており、これまでの知識や言葉を実感に変えることができたと思います。

初めての宿泊を伴う体験学習。マナー、健康管理、食事など、様々な面で不安を覚えながらのスタートでした。予想通り、児童の行動に対して注意を受けたり、健康面で家庭との連絡が必要になる等、小さなハプニングもありました。しかし、「初めての体験」を乗り越えるたび、子どもたちの言動は少しずつ変化し、数日の間にたくましくなりました。活動を進める際にも、たくさんの方々から協力いただいたことに感謝いたします。



### 参加児童の声

林業体験で、初めてノコを使って「まき割」をしました。予想以上にノコが重く、はじめはまきにうまく当てるのができませんでした。宿のお父さんから教えてもらって、だんだん上手にできるようになりました。

男子

私は、星雪館で、ほうれん草やトマトなどを収穫して、スパゲッティをつくりました。それがとてもおいしくて、全部食べてしまいました。野菜の収穫ではカマの使い方を教えてもらいました。民泊のお母さんがとても優しくかったです。

女子

全体を振り返ると、すべてのことが心に残りました。山で見たヤマユリのきれいさやオニヤンマのかっこよさ、山のガイドさんが前の担任の先生のお父さんだったことの驚き。初めて子どもどうして泊まることも心細く感じていましたが、みんなのいつもと違ったふれあいのおかげで楽しい時間を過ごし、たくさん体験できました。

男子

### 受入農家の声



元氣いっぱいの子ども達と一緒に農村体験することで、私たちもいろんな発見があり、楽しみや勇気をいただいています。受け入れ仲間も増え、子ども達との交流で得た感動は大切な宝物になっています。帰っていく子ども達を見送る言葉は「ありがとう」「また来てな」。来てくれた子どもたちが、最高に元気で楽しくなれる家族が、仙北市でお待ちしています。

藤井けい子さん



学年の違う子ども達も、それぞれ目線も意見も違う中、近くの野山で草花を摘んだり、小川で水遊び、田畑で手伝い…それも貴重な体験です。自然たっぷりの田舎は子ども達の元気の源。いっぱい遊んで、いっぱい学べる。農家と自然との関わりも学べますよ。「こんにちは」「ごちそうさま」「さようなら、また来ます」。そんな元気な声を聞けるよう頑張ります。

田口 郁子さん

おいしい農家ごはん